

プロポーザル方式における特定結果書

- 1 業務名: 令和7年度宮崎管内道路事業監理業務
- 2 所属事務所: 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
- 3 方式: 簡易公募型プロポーザル方式
- 4 公示日: 令和7年1月16日
- 5 特定通知日: 令和7年2月25日

技術提案書提出者	特定の 有無	特定されなかった理由
九州地域づくり協会・アイ・デベロップ・コンサルタンツ設計共同体	特定	
以下余白		

[標準様式例8]

プロポーザル評価表

1. 業務名

2. 所属事務所

3. 方式(〇〇型プロポーザル方式)

4. 技術提案書の提出要請日または選定通知日

5. 特定通知日
- :

:

:

:

:
- 令和7年度宮崎管内道路事業監理業務

宮崎河川国道事務所

簡易公募型プロポーザル(総合評価型)

令和7年1月16日

令和7年2月25日

評価項目	評価の着目点		評価の ウエイト	1	2	3
				九州地域づくり協会・アイ・デベ ロップ・コンサルタンツ設計共同 体		
				評価	評価	評価
実施方針・ 実施フロー・ 工程表・ その他	業務の 理解度	・目的、条件、内容の理解度が高く、優れて いる場合に優位に評価する。	20	17.33		
	実施体制	配置予定技術者の経験、資格、人数、地元精通 者の確保、代替要員の確保など、業務を遂行す るうえで体制が整っている場合に優位に評価す る。 下記のいずれかの項目に該当する場合には特 定しない。 ①業務の分担構成が、不明確又は不自然な場 合。 ②設計共同体による場合に、業務の分担構成 が細分化され過ぎている場合、①の分担業務を 複数の構成員が実施することとしている場合。	20	14.67		
評価 テ ー マ 1	専門技術 力・実現性	①実務経験を踏まえた提案内容であることが 伺え、ポイントの着眼点が的確で、本業 務に有効である場合に優位に評価する。 ②実務経験としてあげた業務について、中 心的・主体的に参画し、重要な役割を果た したことが明確な場合に優位に評価する。 ③本業務を十分に理解した上での提案内 容になっている場合に優位に評価する。 ④提案内容に具体性があり説得力がある 場合に優位に評価する。	60	44.00		
小 計			100	76.00		

※上記の評価表における業者名は特定業者名以外は匿名。

※適宜行の追加・削除をすること。